

第3章 本市における新型コロナウイルス感染症に関する分析

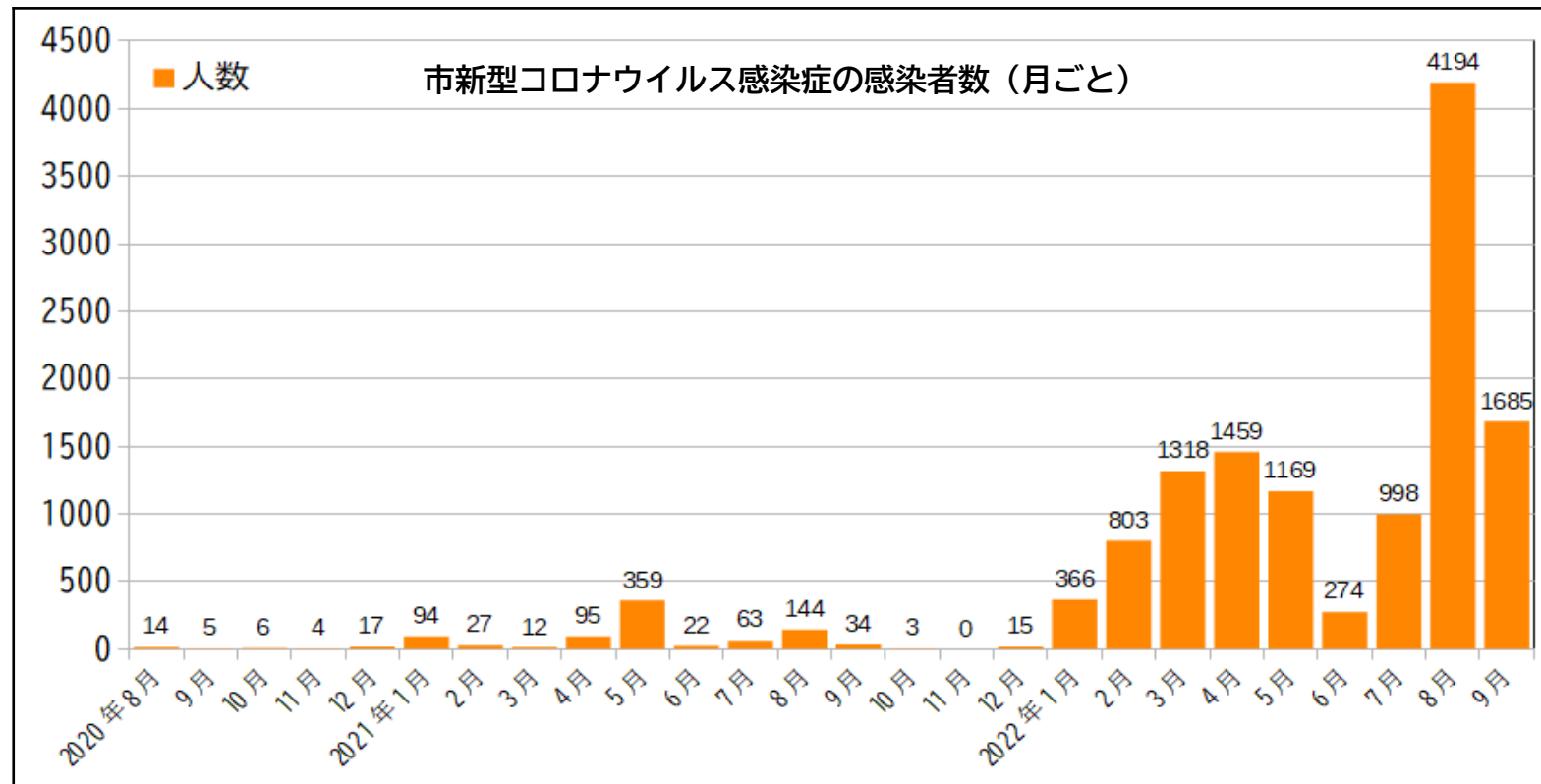
※ データ・グラフは県公表資料の数値から作成

■会津若松市新型コロナウイルス感染症感染者データ（県公表オープンデータによる集計）

期間：令和2年8月19日(市内1例目)～令和4年9月25日(市町村ごとの公表終了)

累計感染者数：13,180人

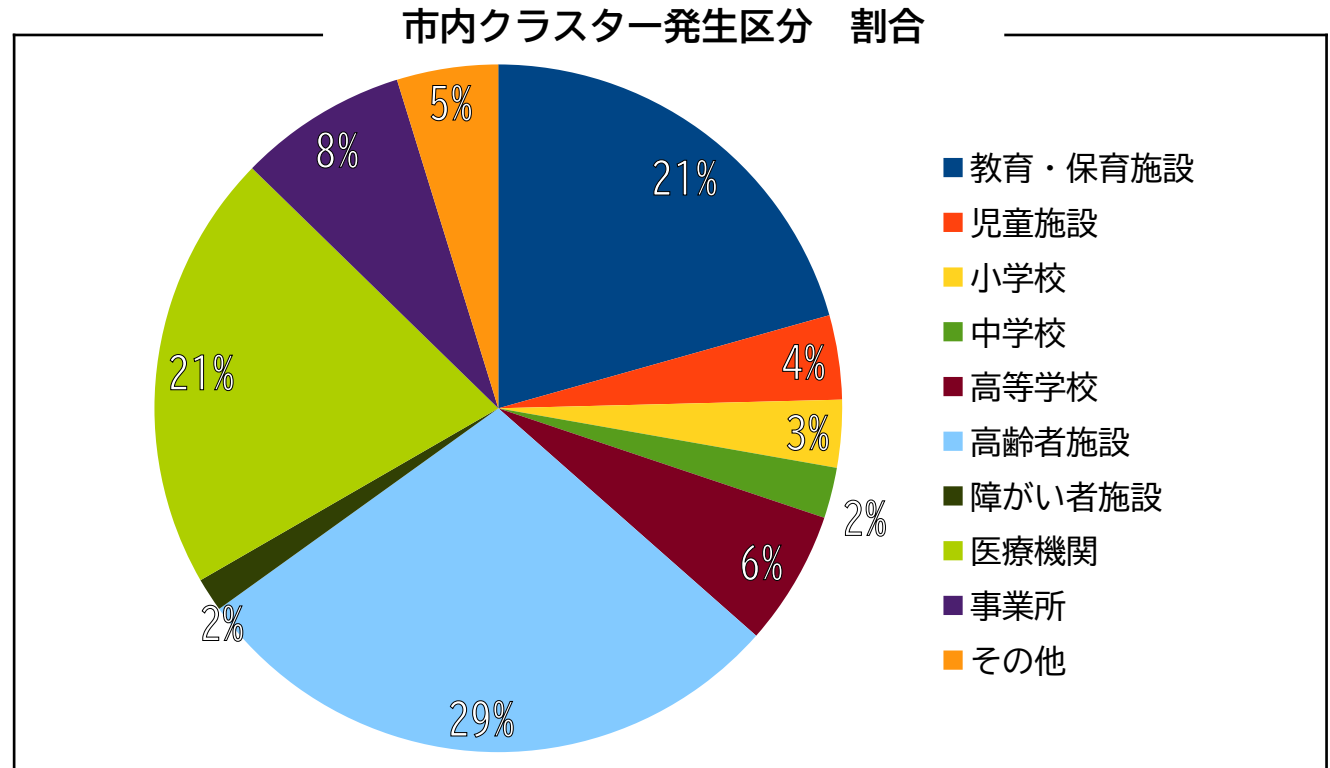
1日の最大感染者数：240人(令和4年8月24日)



※令和4年9月26日に新型コロナウイルス感染者の発生届提出対象者が見直されたため、市町村ごとの感染者数の公表はなくなりました。（→保健所ごとの感染者数の公表に変更）

■感染者の集団発生（クラスター）の事例

区分	件数	人数
教育保育施設	26	346
児童施設	5	44
小学校	4	70
中学校	3	40
高等学校	8	100
高齢者施設	36	475
障がい者施設	2	14
医療機関	26	635
事業所	10	64
その他	6	51
合計	126件	1,839人



※人数には市外在住者も含まれます

【流行波ごとのクラスター発生件数】

流行波	第1波	第2波	第3波	第4波	第5波	第6波	第7波	第8波
件数	0	1	3	4	8	36	37	37

■年代別の感染者数（※第1波の市内感染者なし）

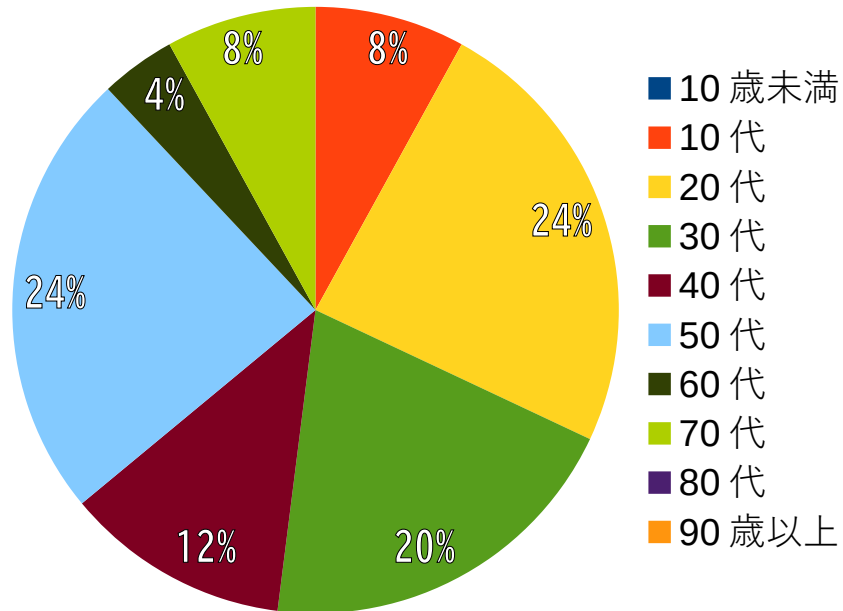
第2波（令和2年8月19日（市内初確認）～10月31日）

（単位：人）

10歳未満	0	50代	6
10代	2	60代	1
20代	6	70代	2
30代	5	80代	0
40代	3	90歳以上	0

感染者計：25人

特徴
20代・50代の感染
が多く見られる。



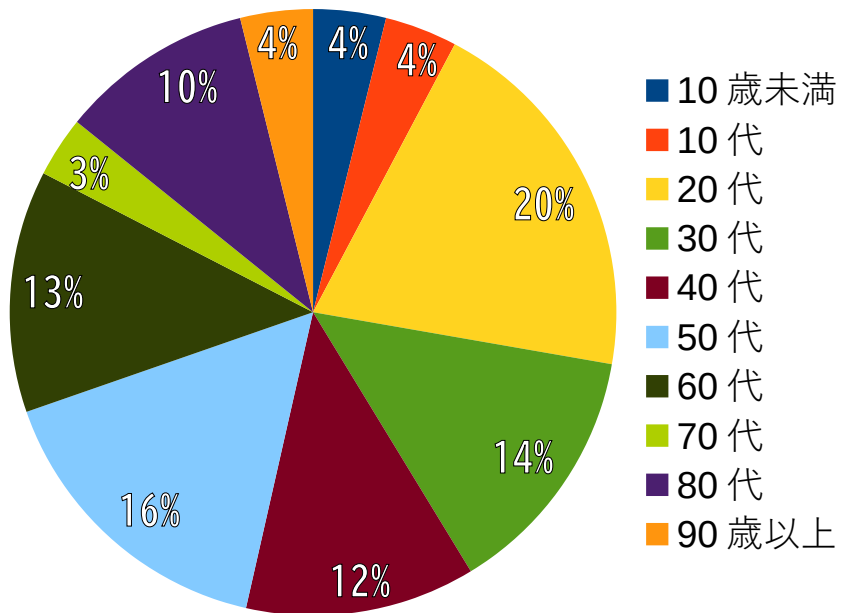
第3波（令和2年11月1日～令和3年3月31日）

（単位：人）

10歳未満	6	50代	25
10代	6	60代	20
20代	31	70代	5
30代	21	80代	16
40代	19	90歳以上	6

感染者計：155人

特徴
第2波と同様に、
20代・50代の感染
が多く見られる。



■年代別の感染者数

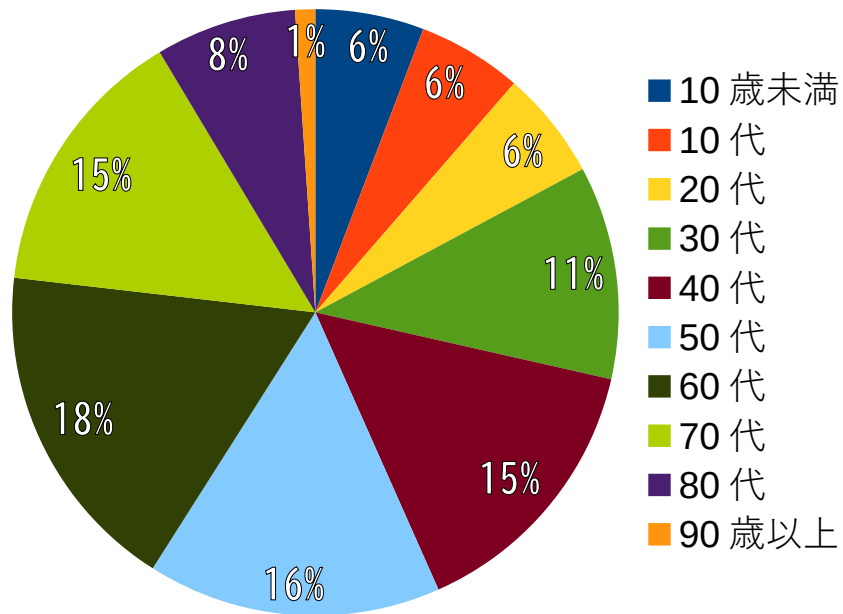
第4波（令和3年4月1日～6月15日）

（単位：人）

10歳未満	27	50代	73
10代	26	60代	83
20代	27	70代	68
30代	53	80代	35
40代	69	90歳以上	5

感染者計：466人

特徴
中高年の感染が増加し、50～70代で約半数を占めている。



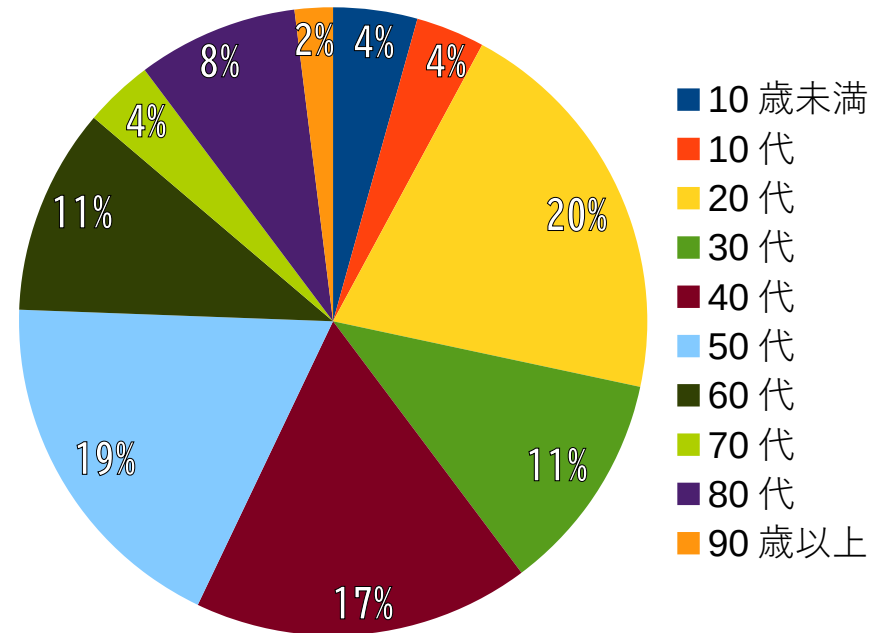
第5波（令和3年6月16日～10月31日）

（単位：人）

10歳未満	11	50代	47
10代	9	60代	27
20代	52	70代	9
30代	29	80代	21
40代	44	90歳以上	5

感染者計：254人

特徴
第4波と同様に50～70代の感染者が多いが、20代の感染者が増加している。



■年代別の感染者数 (令和4年7月20日以降年代別データ公表なし)

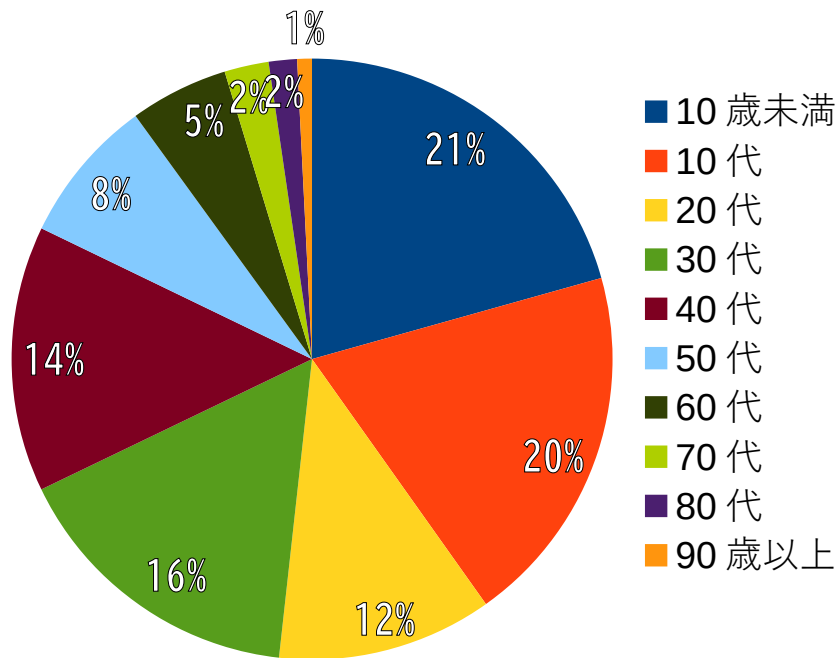
第6波 (令和3年11月1日～令和4年6月30日)

(単位：人)

10歳未満	1,116	50代	424
10代	1,055	60代	286
20代	626	70代	129
30代	870	80代	82
40代	773	90歳以上	43

感染者計：5,404人

特徴
20代以下の若い世代で感染が増加し、半数以上を占めている。



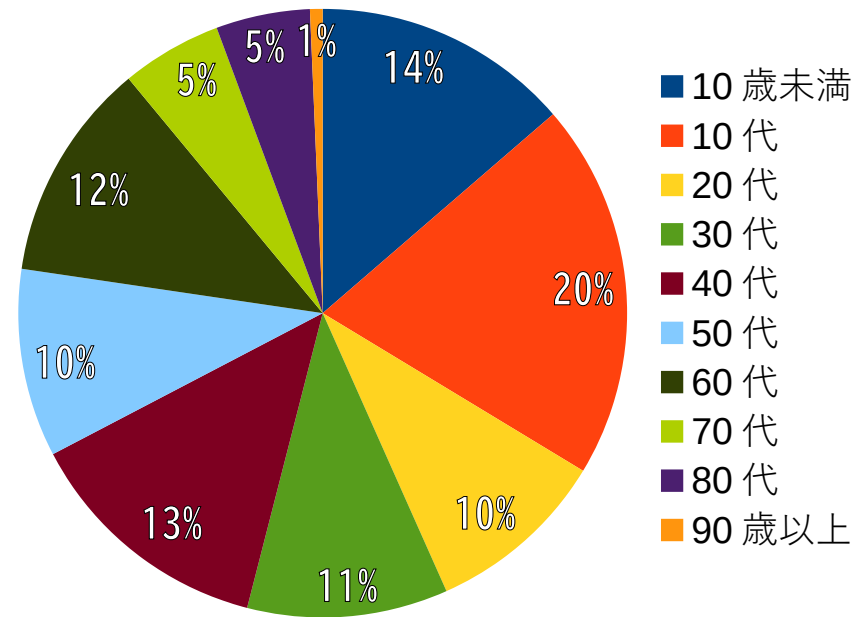
第7波 (令和4年7月1日～7月19日公表分まで)

(単位：人)

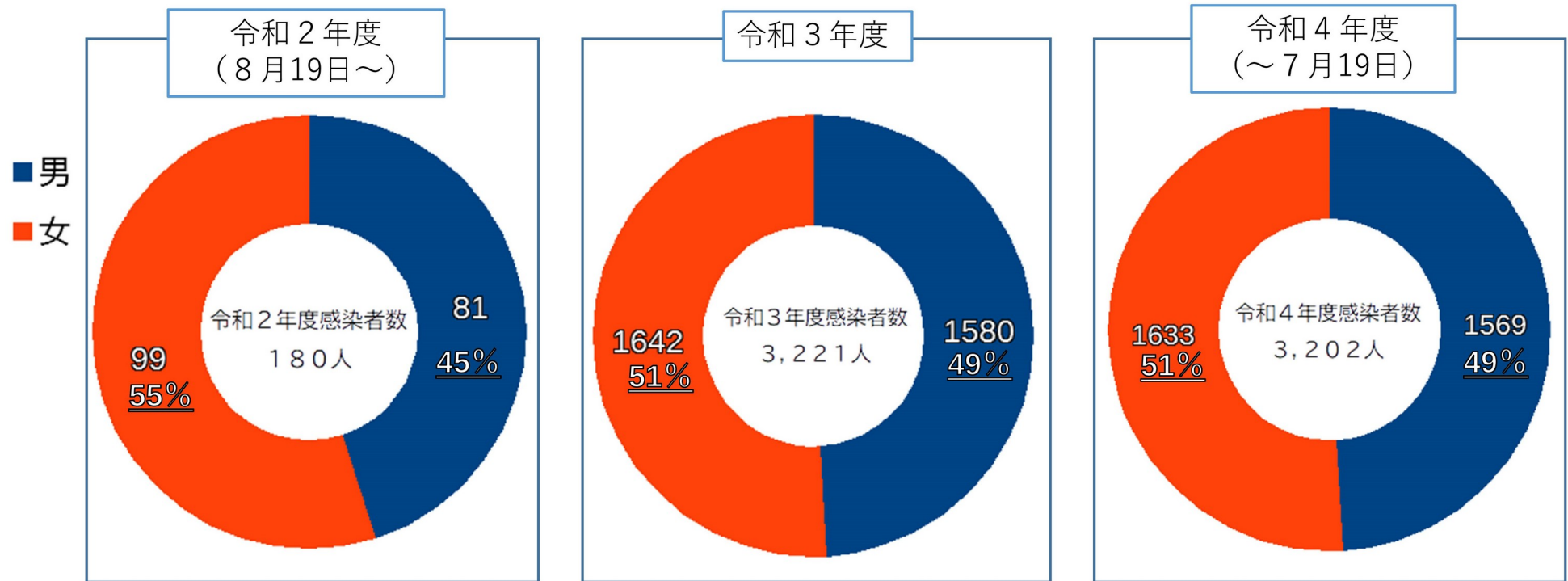
10歳未満	41	50代	30
10代	60	60代	35
20代	29	70代	16
30代	32	80代	15
40代	40	90歳以上	2

感染者計：300人

特徴
50代以上の感染が増加している。



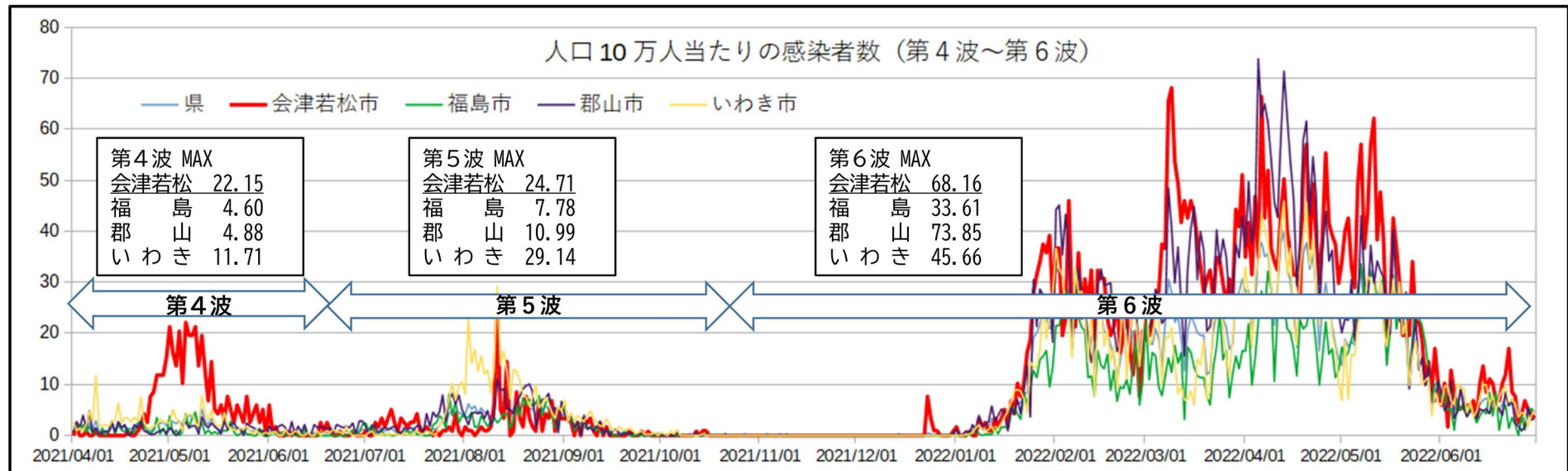
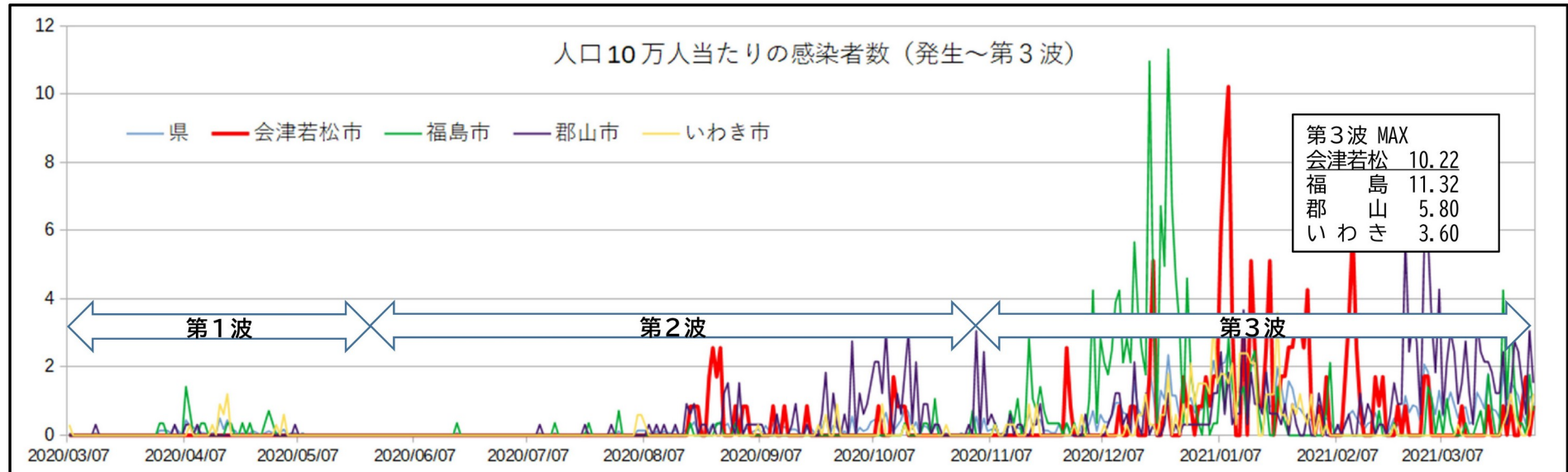
■男女別の感染者数 (令和4年7月20日以降男女別データ公表なし)



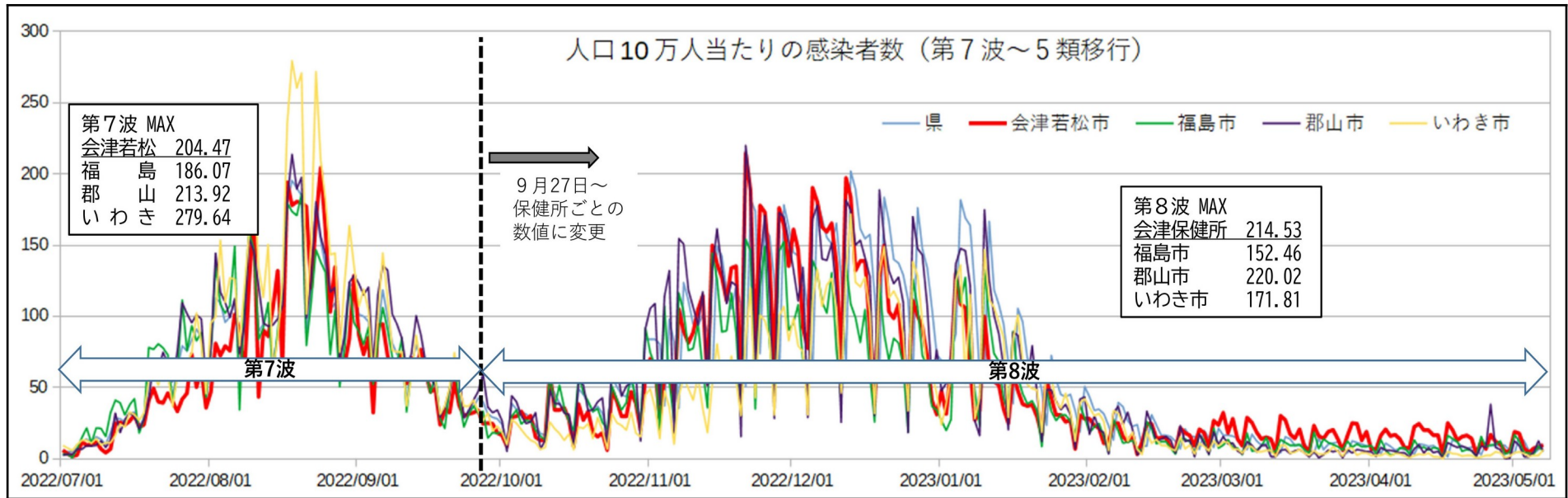
【傾向の分析】

- ・令和2～4年度の男女別感染者数においては、ほぼ半々であり、市内感染者において男女別に特徴的な感染傾向はみられない。わずかに女性が多いのは、市内人口の男女比率が影響している可能性がある。
(令和2年国勢調査より) 会津若松市人口 117,376人 男性 56,063人(約48%) 女性 61,313人(約52%)

■人口10万人当たりの感染者数（他市比較）



■人口10万人あたりの感染者数（他市比較）



【感染傾向の分析】

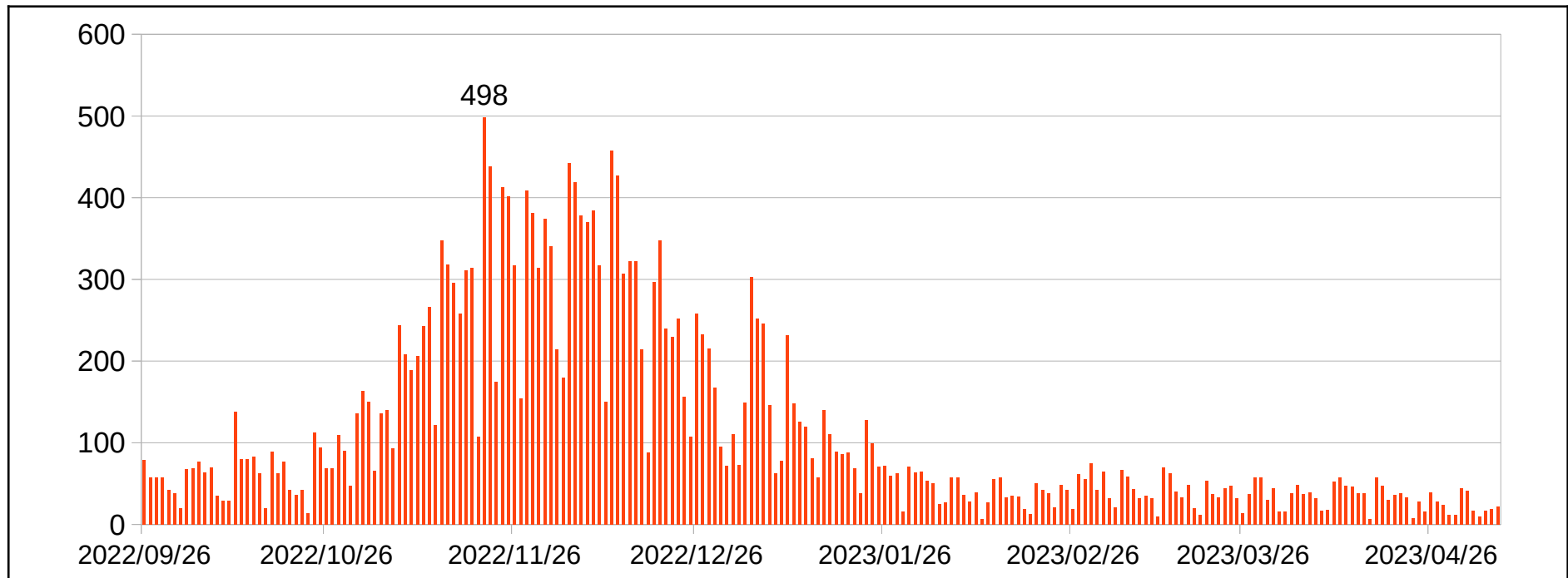
- ・感染者数の増減は基本的に他市と同様の動きを見せており、感染拡大のタイミングの前後はあるが、本市として特異な感染傾向はみられない。
- ・第4波、5波は他市と比較し、本市の感染者が多く報告されているが、本市が観光地であることを考慮すると、全国旅行支援事業（Go To Travel）の実施が一つの要因である可能性がある。
- ・第6波以降、7波、8波と感染の山が大きくなっているため、主流となったオミクロン株が、以前の株と比較し、より強い感染力を持つことが見て取れる。

■会津保健所管内感染者データ（5類移行まで）

期間：令和4年9月26日～令和5年5月7日（5類感染症へ移行）

累計報告数：25,359人

1日の最大報告数：498人（令和4年11月21日）



※会津保健所管内構成市町村

会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

■会津保健所管内感染者データ（5類移行後）

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の2類相当から5類へ位置づけが変更となったため、福島県感染症発生動向調査報告（※）による週報で感染者数を公表（日ごとの感染者数は公表されなくなりました。）

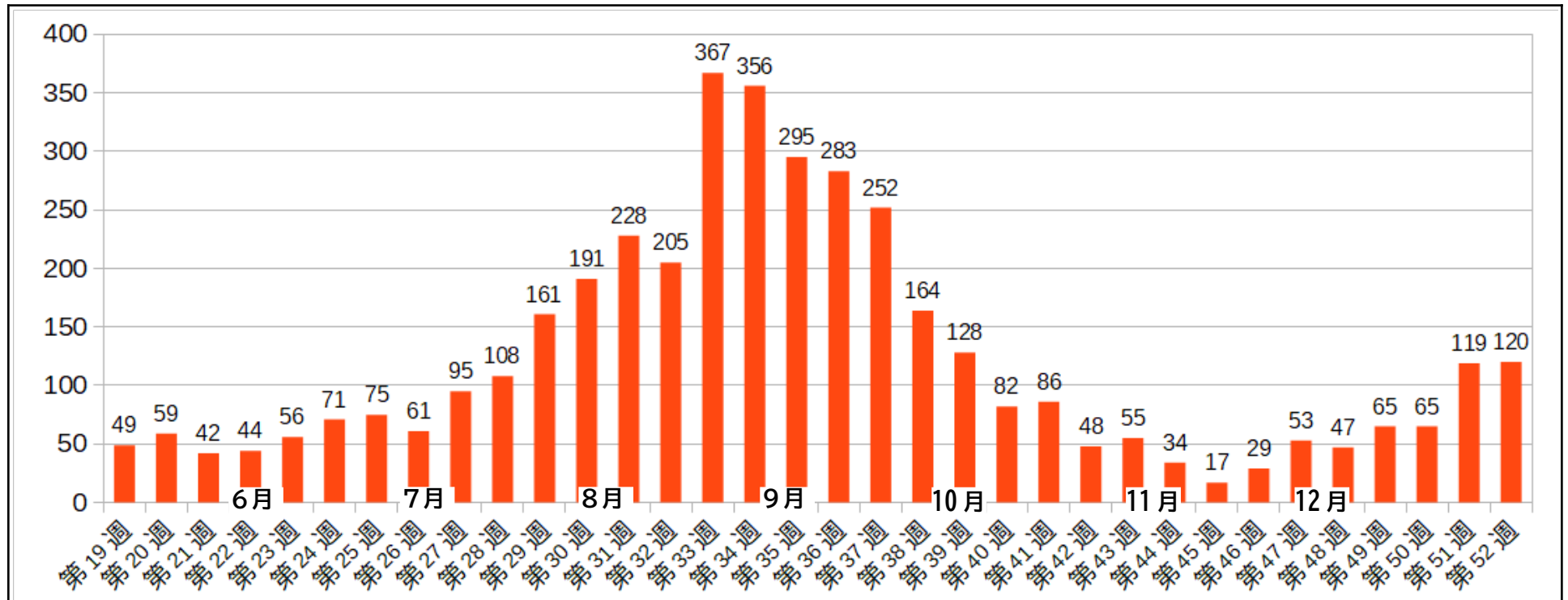
期間：令和5年5月8日～令和5年12月31日（第19週～52週）

累計報告数：4,110人

週報による最大報告数：367人（第33週 令和5年8月14日～8月20日）

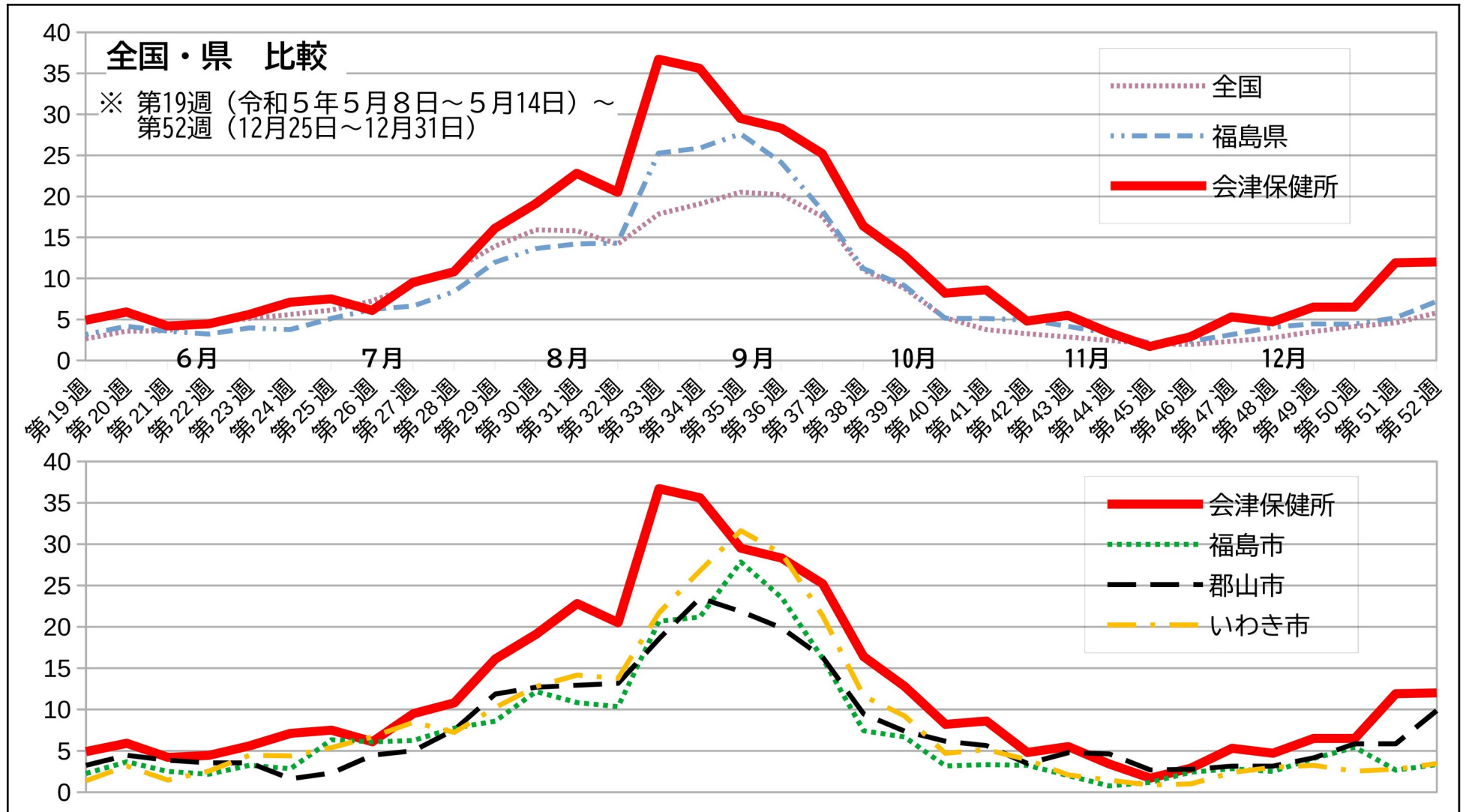
※ 福島県感染症発生動向調査

感染症法に基づき、福島県が定める定点医療機関からの報告により、患者情報等の収集、感染症の動向を把握する調査



■会津保健所管内感染者データ（1定点当たりの報告数比較）

定点数：全国 約5,000箇所 県 82箇所、会津保健所管内 10箇所、福島市 12箇所、郡山市 13箇所、いわき市 13箇所



第3章 本市における新型コロナウイルス感染症に関する分析

【感染傾向の分析】

- ・会津保健所管内の1定点医療機関当たりの感染者数は、全国・県・他市と比較して、多い傾向にある。
- ・他市等と比較すると、会津保健所管内は高齢化率が高いこと、面積が広いこと、1外来対応医療機関当たりの人口が多いことなどが特徴としてあげられる。高齢者が多いことで病院の受診率が他市と比べ高い可能性はあるが、会津保健所管内の感染者が他と比較し、多いことについて現在把握できるデータから特定することは困難である。

保健所	構成市町村	※令和2年国勢調査より				面積計 (km ²)	外来対応 医療機関 (R6.1.15時点)	定点 医療 機関	1外来対応 医療機関 当たりの人口	1定点医療機関 当たりの人口
		人口	世帯数	高齢者数 (65歳以上)	高齢者 割合					
福島市	福島市	282,693	121,919	85,853	30.37 %	767.22	159	12	1,777.94	23,558
郡山市	郡山市	327,692	140,441	88,149	26.90 %	757.20	156	13	2,100.59	25,207
いわき市	いわき市	332,931	141,411	104,428	31.37 %	1,232.26	155	13	2,147.94	25,610
会津	会津若松市、 喜多方市、北塩原村、 西会津町、磐梯町、 猪苗代町、 会津坂下町、湯川村、 柳津町、三島町、 金山町、昭和村、 会津美里町	232,140	90,245	81,784	35.23 %	3,078.78	92	10	2,523.26	23,214
県全体	—	1,833,152	742,911	580,272	31.65 %	13,505	857	82	2,139.03	22,356